

★最新介護医療情報★

ブラジルで新変異株確認 保健相「デルタクロン株」

(共同通信社 2022.3.16 配信)

ブラジルのケイロガ保健相は15日、北部のパラ州とアマパ州で新型コロナウイルスの新たな変異株「デルタクロン株」の感染例が見つかったと明らかにした。地元メディアが報じた。症状などの詳細は明らかにしていないが「重要で懸念される変異株」とみており、監視を続けるとしている。

英BBC放送によると「デルタクロン株」は公式名称ではないが「デルタ株」と「オミクロン株」の遺伝子に結び付いた変異株は今年に入ってフランスで確認された後、ベルギーやドイツなどでも見つかった。最近になって米国でも関連する症例が判明している。

【フランス便り】マスク、ワクチン・パスポート不要の日常に

フランスでは、3月14日月曜日より学校や職場を含め、**屋内でのマスク着用義務が解除となりました。同時に飲食店・文化・娯楽・スポーツ施設、商業施設でのワクチン・パスポートの提示義務も解除となります(ただし、公共交通機関利用時・医療機関・高齢者施設ではマスク着用義務継続)。**

既に前号でご報告しました通り、2月中に行われたいくつかの制限緩和や解除から1カ月弱が経った今、ここへ来てその当然の帰結と言いますか、またまた新規感染者数がリバウンド増加しています(3月6～10日の時点で、週平均新規陽性者数で比較しますと、**仏+11%、独+16%、英+33%**)。にもかかわらず、今回のマスクやワクチン・パスポートの義務解除が施行となりました。最大の決め手は、重症化患者・入院患者が増えていないことでしょう。そして、コロナ対策の成功を治めた象徴＝勝利体験の共有を、最も必要としているのは、次期大統領選(第1回投票4月10日・第2回投票4月24日)を目前に控えたマクロン大統領かもしれません。

数多ある他の候補者とは一線を画して、現職の大統領として彼の極めて異色の活動が注目されています。それは、公約マニフェストを発表したり、党大会や、テレビの前での候補者討論会でディベートしたりせず、出馬表明すら、期限日ギリギリまでせず。まさに戦わずして勝つを狙うかのように、いわゆる選挙活動らしきことを一切していません。

しかし、ウクライナ危機でプーチン大統領をはじめ各国の首脳との何時間にも及び電話やロシアでの会談、マスクやワクチン・パスポートを解除できるくらいに最終的に成功に治めたコロナ対策を、国民にこれでもかと選りすぐりの映像で見せています。この姿は、言葉だけの他の候補者とは次元の違いすら感じさせ、これより強い訴求力はありません。イメージ戦略上、ここで、新規陽性者数増で後退する想定は恐らくないのではないのでしょうか。

かくしてフランスでは今週から、マスクもワクチン・パスポートもない、アフター・コロナの春を迎えました。

